

**和歌山大学教育学部**  
**特別支援教育特別専攻科 発達障害教育専攻**

**特別支援教育コーディネーターコース**

(特別支援学校教諭1種免許コース)

募集定員 10名

**コースの目的と特色**

*「新たな特別支援教育の時代に資する地域人材の育成を目指します」*

特別支援教育コーディネーターコースは、知的障害児、肢体不自由児、病弱児など、従来の障害児教育の対象に加えて、ADHD、LD、自閉症スペクトラム障害など、発達障害を有する児童生徒の指導について専門的に学ぶ、特別支援教育の長期研修プログラムです。特別な教育ニーズを有する子どもの心理や発達の特性を正しく理解し、適切に対応できるように、教師の実践力を高めることを目的にしています。

そのためこのコースでは、心理学、医学、指導法の系統的な知識や技術を学ぶとともに、大学が企画する臨床プロジェクトへの参加や、地域の学校や施設での観察参加実習など、コース独自のプログラムを豊富に用意しています。また、教育の時代的な変化の背景にある思潮や、教育の原理、歴史についても学習の機会を設け、表面的スキルの習得に終わらない深い学びを目指します。

主として小学校、中学校の特別支援学級の担当教員や、学校内で支援体制の中核となる教員を対象として、障害児の指導やアセスメントに関する専門的な知識、技能を身につけるとともに、保護者との教育相談や、校内支援体制の調整、関係機関との連携など、コーディネーターとして必要となる実践力を向上させるためのコースです。

**取得できる資格**

本コースの修了者には、特別支援学校教諭1種免許状が授与されます。

## 特別支援教育コーディネーターの役割

特別支援教育を進めていくにあたり、特別支援教育コーディネーターの役割は極めて重要です。コーディネーターは、小学校や中学校においては、特別支援学級の指導および通級の指導に関わるだけでなく、学校内の支援体制の整備や調整を中心的な立場で行い、保護者の教育相談にも対応していくことが期待されています。また、学校教育法が改正され、特別支援学校は、地域の障害児教育のセンター的役割を担い、地域の学校の要請に応じて教育的支援や助言を行うことが定められました。特別支援学校のコーディネーターは、こうした教育連携の中心となるため、より高度な専門性と調整能力が必要になります。

このコースでは、特別支援教育コーディネーターに求められる、こうした課題の解決能力を高めるため、個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成を学ぶほか、医療・福祉・進路の関係機関を実際に訪問し地域連携について考える機会を設け、心理検査や発達検査などアセスメントについても学びます。また保護者への対応や、教育相談等のあり方についても検討していきます。コースのカリキュラム全体が、実力のある特別支援教育コーディネーターの養成を目的に編成されています。

## 【独自の实戦型研修・研究プログラム】

### 特別支援教育コーディネーター実践課題研究

特別支援教育コーディネーターとして活動する上で必要となる実践力を養うため、一年間を通じて個別に指定された地域の特別支援学級ないし特別支援学校等において、個別の指導計画、個別の教育支援計画の研究や、定期的な授業研究、および学校内の支援体制づくりのサポート等を行います。また、発達相談や教育相談におけるアセスメント、カウンセリング、コンサルテーション等の課題研究などを行います。

### 特別支援教育臨床プロジェクト

この科目は、地域社会で生じている具体的な教育問題の解決にむけて、大学が取り組む研究プロジェクトの一環に位置づけられます。単年度毎に目標を設け、問題改善のプログラムや教材開発を行い、教育現場への適用や事例研究を通じて、その有効性を検証します。プロジェクトには本学の学生と教員の他、地域の学校や教育委員会、医療・保健機関、児童福祉施設等からプロジェクト研究員が共同参加します。コース入学者はプロジェクト運営の中心となり、自身の実践研究の経過や成果を報告・発表します。

### 特別支援教育総合演習

障害者の生涯にわたる総合的なケアのあり方に関する知識の習得と理解を目的として、特別支援教育と関連の深い医療、保健、福祉、労働等の機関や施設の実態について、講義と実地指導の組み合わせによって学びます。保健所での乳幼児検診や親子教室、障害児通園施設の役割、医療機関と学校との連携、発達障害者センターの家庭支援、授産施設などの福祉的就労やレクリエーション活動、障害者職業センターの就労支援、児童施設と地域連携などです。

### 特別支援教育観察参加

特定領域（自分自身の所属と異なる）の特別支援学校および特別支援学級における観察参加の体験を通じて、障害児指導の実際を幅広く、具体的に学ぶ科目です。ガイダンス、授業参観、学級での指導補助、配属校での協議会等を実施します。和歌山県内の学校と学級を中心として、他府県の学校においても実施することがあります。

## 【カリキュラム】

授業は、すべて特別支援教育に関する専門科目で構成されています。

### 特別支援教育コーディネーターコース

#### 「学びの土台」 (特別支援教育の基礎理論、制度、歴史、世界の動向等を学ぶ)

特別支援教育概論	2単位	必修
障害児教育の歴史	2単位	選択
特別支援教育学演習	2単位	選択必修 △

#### 「子ども理解の追求」 (子どもの発達や障害の特性、心理、病理、課題を理解する)

特別支援教育の心理学	2単位	必修
発達障害児心理学	2単位	選択
発達障害児心理学演習	2単位	選択必修 △
特別支援教育の医学	2単位	必修
発達障害児医学	2単位	選択
発達障害児病理学演習	2単位	選択必修 △
発達障害児の教育	2単位	選択
聴覚障害児の教育	2単位	必修
視覚障害児の教育	2単位	必修

#### 「実践力の向上」 (指導法、アセスメント、コーディネイトの実践理論を学ぶ)

特別支援教育の臨床学	2単位	必修
発達障害児臨床学	2単位	選択
発達障害児臨床学演習	2単位	選択必修 △
特別支援教育コーディネーター論	2単位	必修
発達障害アセスメント	2単位	必修

#### 「即戦力プログラム」 (フィールドワーク、実習など、実地の経験を通じて学ぶ)

特別支援教育コーディネーター実践課題研究	2単位	必修
特別支援教育総合演習	2単位	必修
特別支援教育臨床プロジェクト	2単位	必修
特別支援教育観察参加	2単位	必修
特別支援教育実習	3単位	必修 ※

修了に要する単位数 31単位 必修科目 27単位

※ 養護学校教員の経験者は教育実習の必要単位数を勤務年数に応じて他科目の単位数で充当できる。

△ 選択必修となっている演習科目は所属ゼミの決定後、ゼミの分野に応じて1科目を履修する。